



件名				
	第4回下関市立大学点検評価シンポジウムの開催について			
内容				
	以下の内容にてシンポジウムを開催いたしますので、ご案内申し上げます。			
	<p>1. テーマ及び目的 「公立大学に求められる大学改革とは？」</p> <p style="padding-left: 40px;">ー産官学連携と内部質保証を通じて探る、大学の生き残り策とはー</p> <p>急速な少子高齢化に伴う18歳人口の減少は、将来的な大学の統合まで視野に入れざるを得ない、大学間の生き残りをかけたサバイバルレースの様相を呈してきている。かつてない大学を取り巻く状況が厳しい中、大学とは何か？大学の役割とは何か？という根本的な問題にまで立ち返り、来年度からスタートする第3期中期計画について学内外の方に周知する機会とするとともに、先行して第3期中期計画を実施している北九州市立大学の中期計画と自己点検評価を通じて、今後の大学の生き残り策を探るきっかけづくりとする。</p>			
	<p>2. 内容 ●第1部・基調講演（14：10～14：50 各20分）</p> <p style="padding-left: 40px;">①「公立大学法人下関市立大学の第3期中期計画について」</p> <p style="padding-left: 80px;">荻野 喜弘（公立大学法人下関市立大学理事長）</p> <p style="padding-left: 40px;">②「公立大学法人北九州市立大学の第3期中期計画と内部質保証の取組について」</p> <p style="padding-left: 80px;">中尾 泰士（北九州市立大学副学長・評価室長）</p> <p>●第2部・シンポジウム（15：00～15：55）※質疑応答を含む</p> <p style="padding-left: 40px;">「公立大学に求められる大学改革とは？」</p> <p style="padding-left: 80px;">ー産官学連携と内部質保証を通じて探る、大学の生き残り策とはー</p> <p>コーディネーター：森 幸弘（下関市立大学点検評価委員会副委員長）</p> <p>パネリスト ：中尾 泰士（北九州市立大学副学長・評価室長）</p> <p style="padding-left: 40px;">：山本 卓広（下関市産業振興部長）</p> <p style="padding-left: 40px;">：川波 洋一（下関市立大学長）</p>			
	<p>3. 日時等 日 時：平成31年2月14日（木）14：00～16：00</p> <p>場 所：下関市立大学 本館2階 I-206教室</p> <p>定 員：100名程度（先着順） ※事前申し込みは必要ありません</p>			
	<p>4. お問い合わせ先</p> <p>公立大学法人下関市立大学 事務局経営企画グループ経営企画班</p> <p>〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号</p> <p>電話：083-254-8707 FAX：083-253-1622</p>			
問い合わせ先・担当者連絡先				
経営企画グループ長	経営企画グループ長補佐	担当者	連絡先	
きしもとみつひろ	のむらゆみこ	にしだまり	083-254-8707	
岸本充弘	野村由美子	西田真里		
提出日	平成31年1月30日	広報連絡先 (経営企画班)	Tel. 083-254-8707	koho@shimonoseki-cu.ac.jp

第4回下関市立大学点検評価シンポジウム

「公立大学に求められる大学改革とは？」

ー産官学連携と内部質保証を通じて探る、大学の生き残り策とはー

急速な少子高齢化に伴う18歳人口の減少は、将来的な大学の統合まで視野に入れざるを得ない、大学間の生き残りをかけたサバイバルレースの様相を呈してきている。かつてない大学を取り巻く状況が厳しい中、大学とは何か？大学の役割とは何か？という根本的な問題にまで立ち返り、来年度からスタートする第3期中期計画について学内外の方に周知する機会とするとともに、先行して第3期中期計画を実施している北九州市立大学の中期計画と自己点検評価を通じて、今後の大学の生き残り策を探るきっかけづくりとする。

【プログラム】

司会：森幸弘（下関市立大学点検評価委員会副委員長）

1. 開会（14：00～14：10）

開会挨拶 川波 洋一（下関市立大学長）

2. 基調講演（14：10～14：50 各20分）

①「公立大学法人下関市立大学の第3期中期計画について」

萩野 喜弘（公立大学法人下関市立大学理事長）

②「公立大学法人北九州市立大学の第3期中期計画と内部質保証の取組について」

中尾 泰士（北九州市立大学副学長・評価室長）

3. シンポジウム（15：00～15：55）※質疑応答を含む

「公立大学に求められる大学改革とは？」ー産官学連携と内部質保証を通じて探る、大学の生き残り策とはー

コーディネーター：森 幸弘（下関市立大学点検評価委員会副委員長）

パネリスト：中尾 泰士（北九州市立大学副学長・評価室長）

：山本 卓広（下関市産業振興部長）

：川波 洋一（下関市立大学長）

4. 閉会（15：55～16：00）

閉会挨拶 萩野 喜弘（公立大学法人下関市立大学理事長）

■日時：平成 **31** 年 **2** 月 **14** 日(木) **14**時～**16**時

■場所：下関市立大学本館Ⅰ-206教室(下関市大学町二丁目1番1号)

■申込：不要 ■参加費：無料

■駐車場：学内駐車場は限りがありますので、なるべく公共交通機関でお越しください。

■お問合せ■

公立大学法人下関市立大学 事務局 経営企画グループ経営企画班

TEL(083)254-8707